

質問と回答（９月２日～４日現地確認での質問事項について）

（１号消火栓、２号消火栓共通事項）

	質問	回答
1	最初の指揮者と隊員の座り位置は決まっているか。	指揮者はグラウンド側に背を向けて座り、それに向かい合うようにして隊員（１番員及び２番員）が座ってください。 （１号消火栓の場合）開始時の１番員及び２番員の着席位置の左右に指定はありませんが、放水終了後の整列・点検の際には１番員が右、２番員が左に並び点検報告を行ってください。
2	停止線は足が越えなければいいのか？資器材や初期消火のホースは越えてもいいのか？	足の部分のみでなく、その他の部分（初期消火中の消火器のホースを保持する腕の部分、屋内消火栓による放水中のノズル及び腕の部分）や資器材についても停止線を越えないように活動してください。
3	懐中電灯は、火災確認前に通信装置の横に置いていいのか？	懐中電灯は、火災確認までは必ず点灯させて携行してください。火災確認後については、置く位置に指定はありませんので、その後の活動の支障とならない位置に置いてください。
4	懐中電灯は、火災確認後その場に置かなくてはいけないのか？通信装置付近に置いてもいいのか？	
5	初期消火時に、係員の指示が出る前に消火器が無くなってしまった場合は、指示が出る前に放水をやめていいのか？	初期消火は途中でノズルから水が出なくなったとしても、係員の合図があるまで（１５秒間）放水し続けてください。
6	屋内消火栓による放水で消火標的を倒す際、左右どちらから倒すかの指定はあるか？	どちらから倒すという指定はありません。両方の標的が倒ればよいです。

(1号消火栓)

	質問	回答
1	ホースからの漏水があった場合は、減点されるか。	資器材の点検不足として減点の対象となります。 なお、漏水がひどく活動継続不能と係員が判断した場合には、係員が制止しますので、その後は放水終了後と同じ行動を取ってください。係員の制止があった場合には、屋内消火栓の放水に関する得点は0点となります。
2	器具愛護について、2番員が1番員の放水の補助に入る際、2番員が「ホースを持ち上げる」、「ホースを置く」動作をゆっくりと行っているが、本番でそこまでする必要はあるか。	乱暴に投げ捨てたりしなければ、日常的な動きの中で行うように持ち上げたり置いたりしていただく動作で構いません。
3	2番員がホースの流れや結合部を確認する際に、その都度立ち止まって確認呼称しなければならないか。	立ち止まらず、1番員のほうへ走っていく中で指差し呼称すればよいです。
4	放水停止後の水抜き処理は、どの程度まで水抜き処理すればいいのか？	勢いよく水が出なくなる程度（チョロチョロと出る程度）まで水抜きすればよいです。
5	筒先をホース上に置く際に、水抜き処理をしたにも関わらず、ホース内の水や空気が抜けずにホースがふくれており筒先をホース上に置けない（ホース上に置いても筒先が転がってしまう）場合にはどうしたらいいのか？	水抜き処理を実施していれば、ホースを折り返した際に筒先がホース上から転がっても減点とはなりません。 ホースを折り返すことなく、直接ノズルを地面に置いた場合には減点の対象となります。
6	火点確認に向かう際に、片手を上げ下げする必要はあるのか？動画ではなんのためにしているのでしょうか？	火点確認に向かう際には、片手を上げ下げする必要はありません。 煙を吸わないような姿勢で火点確認に向かえば結構です。（動画で片手を上げ下げしているのは、先行する隊員が煙の中で壁を伝って火点に急行することを想定しています。）
7	水抜き後、筒先を置くときは、ノズルは開放、閉鎖どちらの状態にするのでしょうか？	水抜き後はノズルを「閉鎖」の状態にして筒先を置いてください。

8	操法開始前、ホースを消火栓ボックス内に収納する際に、ノズルを開放状態のまま収納（ノズルを開けなくても2番員がバルブ操作をしたらずぐに放水できるようにするため）してもいいのか？	安全管理上、審査開始前に筒先をボックスに収納する際には、ノズルを「閉鎖」の状態にして格納し、活動を開始してください。
9	1番員のノズルを開放するタイミングは、ホースに水がのってからなのか？ ホース延長を完了し放水姿勢をしっかりとれていれば、ホースに水がのる前に筒先を開放状態で待ち、ホースに水がのったらそのまま放水できる体勢をとってもいいのか？	1番員のノズルを開放するタイミングは、「放水はじめ」の指示を実施した後、ホース延長を完了して放水姿勢を取ってからです。水がのっている/いないは影響しません。 後段については、お見込みのとおりです。